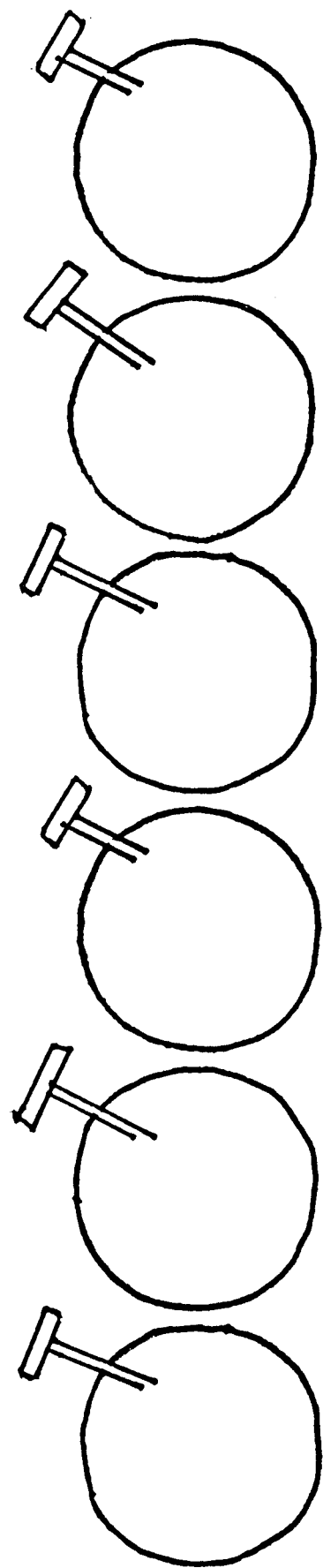
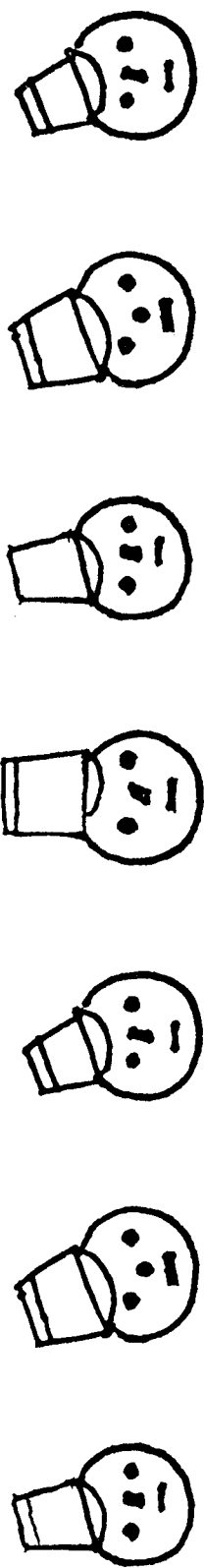


つくりすぎたのは
うえかな、したかな？



- 1) 作り過ぎたのはどちらか、余るのはどちらかなど発問。
- 2) 雪だるまの直接体験がなければイメージを喚起。
- 3) 線でつないで確かめる方法を思い起こすのを待つ。
- 4) それが出来ないようなら「線で結んでみよう」に至るヒントを段階的に小出しして試行。

- a) 線を表象として道具的に用いた1対1対応の体験。数の多少や同値を判断する方法として用いる。
- b) 対応における大きさの捨象と数の多少への還元。

